

## 平成28年度事業実績

(公財) 北海道肢体不自由児者福祉連合協会

北海道における肢体不自由児者の福祉の向上に寄与することを目的に、関係機関、関係団体等の支援・協力を得て各種事業を実施しました。その主なものは次のとおりです。

### 1 理事会、評議員会、会長・副会長会議の開催

団体運営の適切円滑化を図るため、理事会、評議員会、会長・副会長会議を適宜開催しました。

### 2 主な事業の実施計画

#### (1) 療育事業

##### ア) 作品募集と表彰

第64回の手足の不自由な子どもを育てる運動の一環として、手足の不自由な児童生徒の作品(作文・詩、図画、書道、手芸工作)及び手足の不自由な友に贈る友情の作品(作文・詩、図画)を道内各学校から広く募集しました。応募学校は17校、451点でした。優秀作品は、平成29年2月6日(月)～8日(水)の3日間で、道庁1階道政広報コーナーに展示しました。受賞者の表彰は、当該学校において、2月末から3月上旬にかけて、当協会役員等が出向き賞状等を伝達しました。

##### イ) 絵はがき等の募金

道民各層に対し、「手足の不自由な子どもを育てる運動」の一環として募金活動を行いました。募金額は1,719,548円でした。

##### ウ) 奨学金の交付

当協会に設置されている岩田・アメフト育英基金奨学生を募集した結果、11校25名の応募がありました。選考委員11名により13名が選ばれ、一人3万円を支給しました。

#### (2) レクリエーション活動の振興

肢体不自由児者の社会自立と社会参加の促進などをねらいとして、当協会並びに各父母の会が共催して事業を実施しました。実施に当たり、地域住民、関係団体、学生ボランティア等との交流を通し、障がい児者への理解啓発を図りました。

実施父母の会23 参加肢体不自由児者451名 家族等1521名 合計1972名

#### (3) 療育キャンプ等研修事業

障がい児者の地域生活における自立支援のため、肢体不自由児者とその家族を対象に事業を実施しました。

##### ア) 肢体不自由児(者)療育キャンプ

在宅生活者が日常生活における適応能力や社会活動等に参加する能力を養う事を目的に、宿泊して、ゆとりのある時間の中で、医師やPT等から機能・訓練を受ける機会をもうけました。特に本事業には道立子ども総合医療・療育センター、道立旭川肢体不自由児総合療育センターをはじめ各地域療育センター、各関係機関・養護学校、諸団体、ボランティアの協力を得て、多くの方が参加しました。

実施父母の会17 参加肢体不自由児者211名 家族等580名 合計791名

##### イ) 学生等ボランティア・ホームヘルパーの派遣及び研修会の開催

在宅の肢体不自由児者を対象に、校外活動等を支援し、身辺自立に寄与することをねらいとして、当協会に登録(学生等)されているボランティア・ホームヘルパーを派遣しました。

また、平成28年5月28日(土)、29日(日)深川市で研修会を開催しました。

ボランティア派遣延べ 120名(旭川、室蘭地区の父母の会単位)

#### (4) 地域活動事業

##### ア) 第30回全道肢体不自由児者福祉大会の開催

期 日 平成28年9月3日(土)、4日(日)

場 所 帯広市 とかちプラザ

父母の会会員、関係機関、団体、一般関係者250名が参加し、3名の提言のもと協議を深め、7項目の決議事項を採択し盛会の中、終了しました。

##### イ) 第49回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会への参加

期 日 平成28年7月30日(土)～31日(日)

場 所 神奈川県 横浜市

北海道から18名参加しました。1,200名を超える参加者の中で、北海道を代表して伊達父母の会の丸子雅子さんが提言を行いました。

##### ウ) 全肢連北海道ブロック地域指導者養成研修会の開催

地域における父母の会活動の活性化と、併せて指導者の育成を図るため、全国肢体不自由児者父母の会連合会と共催で北海道ブロック研修会を開催しました。

期 日 平成28年8月20日(土)～21日(日)の2日間

場 所 道民活動振興センター かでの2・7 920会議室

27名の父母の会会員が参加し、各父母の会の課題について意見交換を行いました。

##### エ) 父母の会会長会議(研修会)の開催

各父母の会が抱える課題をテーマに研修会等を開催しました。

〔第1回・平成28年5月27日(金)、第2回・平成29年2月17日(金)〕

##### オ) 全肢連全国大会参加した父母の会に、費用の一部を支援しました。

#### (5) 啓発事業

##### ア) 第64回「手足の不自由な子どもを育てる運動」を周知し浸透を図るため、各関係機関、団体、報道機関等から支援と協力をいただき実施しました。

運動期間は平成28年6月27日(月)から平成29年3月10日(金)

##### イ) 会報の発行

当協会の事業内容及び父母の会の活動等を紹介し、肢体不自由児者に対する理解、啓発をねらいとして、会報「道肢連協」を6回発行しました。

##### ウ) ホームページによる当協会の事業を発信し、肢体不自由児者への理解・啓発に努めました。

#### (6) 通園施設等職員の研修事業

障がい児者の重度・重複化に伴い、肢体不自由児通園施設職員等の障害児療育における知識及び技能の向上を図ることを目的に北海道立旭川肢体不自由児総合療育センターの協力を得て研修会を開催しました。道内各地域から47名が参加しました。

期 日 平成28年7月2日(土)、3日(日)

場 所 北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター

参加者 道内発達支援センター、施設等の職員を対象

#### (7) 悩み相談

障がい児者の地域生活における悩みや相談を来局及び電話等を行いました。電話相談は4件です。相談内容は、進路、看護師の配置等で地域の課題について相談を受けました。

### 3 その他

#### (1) 組織の拡充強化と自主財源の確保

当協会の組織の拡充強化を図るため、会員及び協賛会員〔普通・賛助・特別〕の拡大に努めました。また、清涼飲料水〔自動販売機〕の機械の更新を行いました。

#### (2) 第30回全道肢体不自由児者福祉大会の成功を目指して取り組みました。